

「いじめ」に関するアンケート(集計結果) 令和6年 11月実施



調査した人数 33名

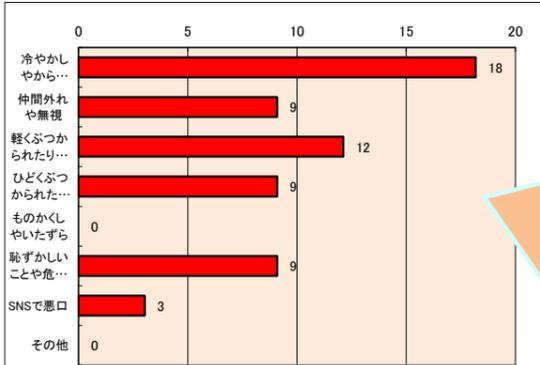
【質問1】今年の4月から今日まで、質問2のア～キのような、いやな思いをしたことがありますか

	人数	%
ア ある	12	36
イ ない	21	64



【質問2】質問1で「ある」と答えた人は、どんなことをされましたか。(複数回答可)

	人数	%
ア 冷やかしやからかい、悪口	6	18
イ 仲間外れや無視	3	9
ウ 軽くぶつかられたりたたかれたり	4	12
エ ひどくぶつかられたりたたかれたり、けられたり	3	9
オ ものかくしやいたずら	0	0
カ 恥ずかしいことや危険なこと	3	9
キ SNSで悪口	1	3
ク その他	0	0



〈その他の内容〉

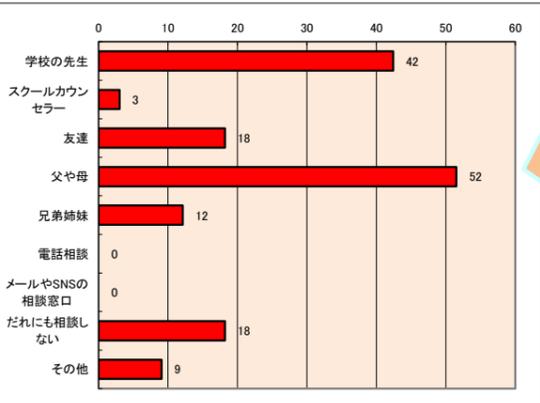
【質問3】質問1で「ある」と答えた人に聞きます。(12名)

そのことで、今もいやな思いをしていますか。

	人数
ア している	9
イ していない	3

【質問4】いやな思いをした時、相談するとしたら誰にしますか。(複数回答可)

	人数	%
ア 学校の先生	14	42
イ スクールカウンセラー	1	3
ウ 友達	6	18
エ 父や母	17	52
オ 兄弟姉妹	4	12
カ 電話相談	0	0
キ メールやSNSの相談窓口	0	0
ク だれにも相談しない	6	18
ケ その他	3	9

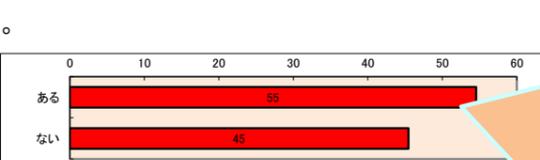


〈その他の内容〉

祖父母 嫌なことを言った相手にやめてと言う

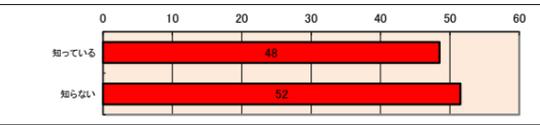
【質問5】今年の4月から今日まで、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。

	人数	%
ア ある	18	55
イ ない	15	45



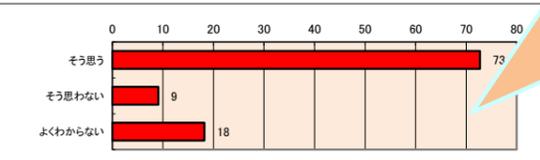
【質問6】「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」を知っていますか。

	人数	%
ア 知っている	16	48
イ 知らない	17	52



【質問7】いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか。

	人数	%
ア そう思う	24	73
イ そう思わない	3	9
ウ よくわからない	6	18



今回も「いじめ」という言葉は使わず「質問2のようないやな思いをしたことがありますか」というたずね方になっています。

【質問1】今回の調査で「ある」と答えた子は12人でした。内容としては、【質問2】のようになっています。【質問3】今も嫌な思いをしている子は9人でした。

【質問1】で「ある」、【質問3】で「している」と回答した児童には、担任が個別で詳しい状況を聞き取り、改善のための指導と取り組みを行っています。

相手にいやな思いをさせてしまい、相手がいじめられたと感じたらそれは『いじめ』になるということを教え、自分も相手もお互いがいやな思いをせず、楽しく学校生活を送れるように指導していきます。

また、今後もいつでもいじめは起こりえる事だと認識しながら、油断することなく、学校の全職員が日常的に子供達の様子を見守っていきます。学校でもよりよい人間関係を築いていけるように継続して指導していきますので、ご家庭で気になることがありましたら、お知らせ下さい。



【質問4】児童の相談相手としては親と先生が多く、次いで友達、兄弟姉妹への相談となっています。保護者、先生や友人、家族との関係も良好であると考えていますが、誰にも相談しないという子も6名いました。「今は相談する必要がない」と考えているのかもしれませんが、「だれにも相談できない」という回答である可能性があることも踏まえ、学校では困ったときや苦しいときに、周りの人に、相談することの大切さを伝えていきます。

子供と最も長く接しているのは、学校の先生ですので、我々もその重要性を自覚し、子供が相談しやすい関係づくり、環境づくりに努めていきます。

お子さまから何らかのサインが出された時には、学校にもご相談いただき、家庭と学校で連携・協力し、対処していきたいと思っておりますので、ご連絡ください。

【質問5】「ある」と回答した子が全校児童の半数をこえる18名いました。言い争いや相手に対してのきつい言葉、周りの子が見ていていやだと思う行動などがあるということがわかります。

そういった行動がいじめへとつながる可能性もありますので、学級の中でも言葉づかいに気をつけるよう指導しています。今後も子ども同士でのよりよい関わり合いに重点をおきながら、粘り強く指導を続けていきます。

【質問6】「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」については、知らないと答える子が約半数17名いるので、困ったときにSOSを出せる1つの方法として、今後も機会があるごとに周知をしていきます。

【質問7】いじめはどんな理由があっても許されないかという質問に対して「そう思わない」「よくわからない」と回答した子があわせて9名いました。今後もいじめの理解を丁寧に行い、『いじめはどんな理由があろうと許されないこと』という指導を継続して行っていきます。各家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

前回6月のアンケートよりも、【質問1】「いやな思いをしたことがある」、【質問3】「今もいやな思いをしている人を見たことがある」という児童が増えています。すでに担任が個別に聞き取りを行い、指導と改善の取り組みを進めてるところです。いつでも、どの学校でも、いじめは起こりえる事だと認識しています。今後も油断することなく、学校の全職員が日常的に子供達の様子を見守り、よりよい人間関係を築いていけるように継続して指導していきます。ご家庭で気になることがありましたら、お知らせ下さい。家庭と学校で連携・協力し、いじめを生まない学校づくりを進めていきます。船泊小学校ホームページには、『船泊小学校いじめ防止基本方針～いじめを生まない学校作りを～』を掲載しています。